

令和7年第7回定例公安委員会会議録

開催日時 令和7年2月27日(木) 午前11時10分～午後2時45分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時5分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 森本警務部長 宮田首席監察官 細田生活安全部長
前田刑事部長 山本交通部長 樋口警備部長
濱本警察学校長 坂口情報通信部長

(事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

4 報告事項

- 令和6年度犯罪被害者支援大学生ボランティアの活動状況(警務部)
- 令和7年度情報セキュリティ対策推進計画(警務部)
- 第24回ミニ広報紙コンクールの開催結果(生活安全部)
- 3月及び4月中の入校及び訓練概況等(警察学校)

(1) 令和6年度犯罪被害者支援大学生ボランティアの活動状況(警務部)

警察本部

犯罪被害者支援大学生ボランティアは、地域社会全体で犯罪被害者等を思いやり、支える気運を醸成していくことを目的に昨年度発足したものであり、鳥取大学5人、公立鳥取環境大学2人の計7人で構成されている。

昨年度の活動は、民間支援団体主催のイベントでの広報啓発チラシの配布、被害者支援フォーラムにおける使役といった受動的なもののみであったことから、令和6年度の活動では、能動的な活動を積極的に行った。全国的にも活動が活発な岡山県の犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会を視察し、岡山県警主催による遺族講演会と、子どもを対象とした犯罪への対策等に関するグループワークに参加し、被害者支援に対する同世代の様々な考え方に触れることで、今後の活動に向けた大きな刺激となった。

そのほかにも、ひまわりの絆プロジェクトの一環として、令和2年に境港警察署の有志により作成された絵本「ひまわりのきずな」を紙芝居用にリメイクし、鳥取警察署の防犯講習に同行し、管内の保育施設において紙芝居を通じて命の大切さをテーマとした読み聞かせを実施した。また、ホンデリングプロジェクトへの参加、被害者支援イベントへの使役参加等、活発に活動を行った。

令和7年度は、令和6年度の活動を継続しつつ、大学生ボランティアの体制拡充のため、引き続き加入促進を図ることで実働可能人員の裾野を広げ、活動のさらなる活性化を図る予定である。

委員

鳥取大学と公立鳥取環境大学の学生が犯罪被害者支援大学生ボランティアをされているとのことであり、若い人が社会的な活動をされるのは大変よいことだと思う。今後の活動の中で、連携できる機関があれば連携していただき、活動の輪を広げていただけたらと思う。

委員

鳥取県警察では、犯罪被害者支援に力を入れて取り組んでいただいているところ、令和5年度に大学生ボランティアを発足させ、若い世代の代表として地元の大学生が活動しており、すばらしい取組だと思う。大学生ボランティアからは、受動的ではなく能動的な活動をしていきたいという意見も挙がり、積極的な活動をしていただいている。今後更に支援の輪が若い世代に広がるよう、引き続きよろしく願います。

委員

犯罪被害者支援フォーラムに参加させていただいた際、大学生ボランティアの方が司会をされていたのが印象的であった。大学生ボランティアの数を維持するのは大変だと思うが、県警察でバックアップや情報交換を行いながら、ボランティア活動が継続していくよう、引き続き支援をお願いしたい。

(2) 令和7年度情報セキュリティ対策推進計画（警務部）

警察本部

令和7年度の情報セキュリティ対策推進計画について6点説明させていただく。まず、1点目の「情報セキュリティ監査及び情報管理業務監査」については、本年6月から9月までの間、警察本部所属及び各警察署を対象に、県の情報セキュリティに関する規定に基づき、監査を実施するものである。2点目の「運用推進員研修会」については、例年異動期に各所属の運用推進員に対する研修会を開催しているものであり、本年は4月に実施予定である。3点目の「巡回教養」については、1点目の監査結果を警察署等にフィードバックする目的と、年度末に警察署等の運用推進員に対し、県監査結果における注意点、近年のインシデント発生状況や対策等の教養をする目的で実施予定である。4点目の「情報セキュリティインシデント訓練」については、四半期ごとに、想定に基づいた訓練を計画しているものである。5点目の「情報セキュリティ対策の自己点検」については、全職員に対し、年2回設問に対して回答させることで、理解度をチェックし、結果に基づいた重点的な教養を行い、セキュリティ向上の目的で実施するものである。6点目の「その他」については、教養資料の発出等、年度内で計画的に教養等を実施していく計画である。

委員

情報セキュリティ対策は、非常に重要な部門である。常に情報のアップデートが必要な部門であるので、しっかりと対策や対応をお願いしたい。

委員

情報セキュリティ対策推進計画について報告いただいたが、何重にもチェックができるような計画が立てられている。警察の場合は、ネットワークが外部と遮断されており、外からの攻撃は考えにくいですが、人為的なミスによるインシデントは考えられるところであり、その点について、教養や監査がしっかりなされる計画となっている。私用のスマートフォンも、許可があれば業務利用できるとのことであり、公私が混同しやすい端末であるので、その点について抜かりのない教養をお願いしたい。

委員

県警察のセキュリティがしっかりなされていることがよく分かった。3月と4月は異動期であり、引継ぎによるミスが発生しやすい時期であることから、気を付けていただきたい。

(3) 第24回ミニ広報紙コンクールの開催結果（生活安全部）

警察本部

過去に警察庁において、全国派出所・駐在所広報紙コンクールを実施していたが、一定の水準に達したことなどを理由に、平成14年の開催をもって廃止された。当県においても、全国コンクールに併せて県内コンクールを開催していたが、平成30年1月の開催をもって、以降の開催はしていなかった。

昨今、特殊詐欺やSNSを利用した詐欺被害の増加、また、いわゆるトクリュウグループによる広域的な強盗事件なども相次いで発生するなど、治安情勢が深刻な事態であり、県警察として、新たな犯罪情勢を県民に発信しなければならない状況にあると考えている。また、地域における身近な犯罪情勢や、交通事故防止に関する情報についても、継続的に発信することが地域住民の安全安心につながっているため、コンクール自体は開催していなかったものの、ミニ広報紙については基本的に毎月1回、交番・駐在所ごとに発行している。

SNS媒体を活用すれば、より早く広く情報発信できる一方、高齢者の方など、SNSの扱いに不慣れな方もおられるため、SNSだけの情報発信では、これを扱わない方に正確な情報が届かないことが懸念されるため、ミニ広報紙の在り方を見直し、住民に分かりやすく、迅速・正確に情報を伝える技術の向上を図ることを目的として、このコンクールを復活開催したものである。鳥取、倉吉、米子及び境港警察署からはそれぞれ2作品を、その他の警察署からはそれぞれ1作品の合計13作品の提出を受け、2月20日にコンクールを開催した。審査員は、鳥取県公安委員会委員長をはじめとする12人で、得点の合計で審査を行った。

審査の結果、上位2作品については、郡家警察署「広報との」、境港警察署の「鬼太郎交番だより」が選出され、作成者を表彰することとしている。

地域警察においては、地域住民の方に役立つ情報を広く受け止めていただくよう、ミニ広報紙をはじめとした各種手段・機会を利用し、効果的な情報発信に努めていく。

委員

先週審査をさせていただいたが、どの広報紙も見た目、内容ともに趣向を凝らしたすばらしい作品が並んでいた。SNSの情報が主流となっている昨今であるが、改めて紙媒体で見ると見やすいことが良く分かった。地域住民の方にも、是非回覧していただきたい。数年間コンクールが開催されていなかったようであるが、こうしたコンクールが開催されると、作成者の励みになると思うので、引き続き実施していただけたらと思う。

委員

ミニ広報紙コンクールを通じて、県内の交番・駐在所の方が大変な労力を払って広報紙を作っておられると知り、すばらしいと思った。手作りの紙媒体で伝えていくことは効果があると思う。努力を惜しまずに広報紙を作成していただいていることに感謝している。是非、今後も続けていただきたい。

委員

新聞は縦書きになっているので、新聞をよく読まれる方には、縦書きの方が読みやすいと思う。ミニ広報紙には、地元の特化した話題や特殊詐欺の手口等を掲載していただいております、すばらしい内容であった。今後も継続して作成していただきたい。

(4) 3月及び4月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

3月及び4月中の入校関係について、採用時教養は初任補修科第47期、初任科第101期、同102期、警察行政職員等初任科第35期の4課程である。警察行政職員等初任科の中には情報通信部の職員も含まれる。警察官の初任科生は4月1日から、警察行政職員等は4月2日から入寮し、4月7日に入校式を挙げる。

3月中の行事・訓練関係等は、柔剣道昇段審査、逮捕術検定、本部所属による各種教養、初任補修科第47期卒業式を行う。

4月中の行事・訓練関係等は、初任科第101期・102期・警察行政職員等初任科第35期入校式、警察行政職員等初任科第35期卒業式を挙げるほか、特別生活指導期間中に、久松山・本陣山登山訓練、10キロマラソン、35キロ強歩訓練を実施予定である。

2月中の行事・訓練関係等は、初任科第100期卒業式、基礎的捜査書類作成能力検定、鑑識技能検定、術科技能検定、卒業試験を実施又は実施予定である。

委員

春に入校する初任科生に対して、多くの訓練が予定されている。引き続き、立派な警察官が育つよう、教養・訓練をよろしく願います。

委員

民間企業で、若手がすぐに退職する傾向にあり、中にはスキルアップのために辞める若手がいるなど、育成が難しい部分がある。いい意味での厳しさをもって学生を育ててもらいたい。大切なのは愛情を注ぐことであり、一年後に成長した姿が見られるよう期待している。この度卒業された学生の活躍も願っている。

委員

警察官として採用される方と警察行政職員等として採用される方が一緒に入校されるとのことであり、特別生活指導期間中の訓練を一緒に実施されるのは、よい機会である。外せるところは枠組みをなくし、学生全員で切磋琢磨し頑張ってもらいたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取4件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

令和7年度情報セキュリティ対策推進計画

4 報告事項

- ・ 非常設留置施設の運用閉場について
- ・ 監察報告

5 決裁

- ・ 指定自動車教習所における不適正事案に対する行政処分
- ・ 鳥取県道路交通法施行細則の一部改正について
- ・ 鳥取県暴力団排除条例施行規則の一部を改正する規則について

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。